

ふれあい

治田小 学校だより

2024年1月23日

栗東市立治田小学校

NO.24

校外学習に行ってきました！

1月15日（月）に2年生が「京都鉄道博物館」、翌16日（火）に6年生が「滋賀県平和祈念館」に校外学習に行きました。その時の様子をお伝えします。

《2年生：京都鉄道博物館》

2年生の子どもたちは、草津駅から京都駅まで電車に乗って「京都鉄道博物館」に行きました。草津駅では、一人ひとりが切符を購入しました。最近は、大人もICカード等を使用して電車に乗ることも多いですが、子どもたちも、日頃は自分で切符を買うことも少なくなっているのではないかと思います。切符を買う前には、少し心配そうな表情をしている子どももいましたが、駅の方やお手伝いに来てくださった保護者の方のお力もあり、全員が無事に切符を購入することができました。その後、班ごとに分かれて乗車。やはり緊張しているのか、いつもより少し口数が少ないように感じました。

しかし、「京都鉄道博物館」ではいつもの元気な2年生の姿が見られました。初代新幹線の「0系」や蒸気機関車を見て、「うわー、すごいでっかいなあ。」と感嘆の声をあげたり、班で協力しながらしおりに載っているクイズを解いたりしていました。

この日の2年生の子どもたちにとっては、「班で協力して行動する」「自分で切符を購入する」「電車に乗って移動する」など、いろいろな経験がありました。この経験が、きっと、今後の学校生活や家庭での生活に活かされるものと考えています。

子どもたちのために、早朝から支援に来てくださったお家の方々、本当にありがとうございました。

今後ともご支援・ご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

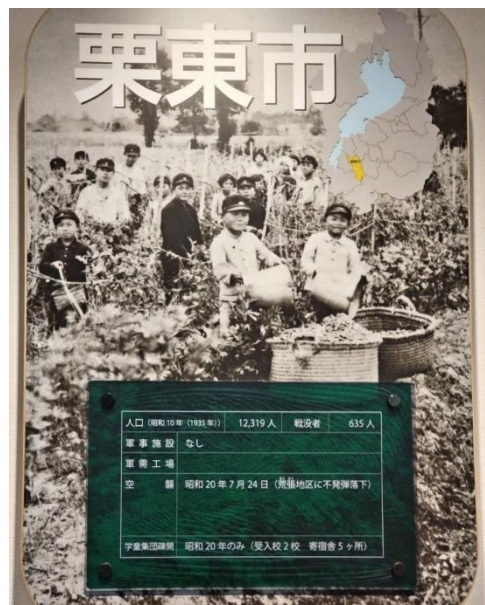


《6年生：滋賀県平和祈念館》

6年生の子どもたちは、東近江市にある「滋賀県平和祈念館」に出かけ、平和の大切さについて学んできました。

子どもたちは、11月30日(木)、12月1日(金)と修学旅行で広島に出かけ、「戦争の悲惨さ」等について学んでいましたが、今回の「平和祈念館」では、「自分たちが住んでいる滋賀県でも空襲等があり、多くの人が亡くなったり、被害にあったりしている。」ということ学ぶことができました。

軍服や「徴兵検査」等の展示資料を見ることで学べることも多かったのですが、今回は、「鉄カブト」や「防空頭巾」を身につけたり、「焼夷弾」や「機銃弾」の実物を手にすることで本当に多くのことを学んだのではないかと感じています。また、戦時中は、自分たちと同年代の子どもたちが「食料にするために芋のつるを乾かす」「さつまいもやジャガイモ等を育てる」などをし、「小学生も戦争の手伝いをしていた」ことや、運動会では「木銃を持ってほふく前進をする競技があった」こと等を知り、驚いていました。



《集団学童疎開の様子：栗東市》

さらに、戦争が激しくなり物資が不足してくると、家庭にある「お玉」やお寺の鐘なども供出されていたこと、昭和20年5月以降だけでも滋賀県で30回以上の空襲があったこと、また、昭和20年7月には、現在の大津市にある東レ工場付近に「パンプキン爆弾（これは後に長崎に投下された原子爆弾の元になったそうです。）」が落とされ、多くの人々が亡くなったり被害を受けたりしたことを学びました。

子どもたちは、「戦争の悲惨さを知るとともに、二度と戦争は起こしてはならない。」という気持ちをさらに強くしてくれたと思いますし、そうであってほしいと願っています。

校長 田中 覚

～ 大谷翔平さんからのプレゼント！ ～

ニュース等でもご存じだと思いますが、大リーグの大谷さんが日本の小学校にグローブをプレゼントしてくださいました。先日、本校にも届きました。各クラスに回して、子どもたちに触れてもらう機会をつくっていきます。

